

領域 13 物理学史インフォーマルミーティング

領域 13 領域運営委員(物理学史)

小長谷大介

開催日時：2022 年 3 月 18 日（金）17:00～18:00 Zoom による開催
（日本物理学会第 77 回年次大会オンライン開催のため）

I. 報告事項

(1) 第 77 回年次大会（物理学史）発表件数

- ・ 6 件（座長・伊東正人(物理教育)）
- ・ 参加者は 25 名前後

(2) 今後の秋季大会・年次大会

- ・ 2022 年秋季大会（物性：東京工業大学：2022/9/12-15）
- ・ 2023 年春季大会（オンライン開催：2023/3/22-25）
- ・ 2023 年第 78 回年次大会（東北大学：2023/9/16-19）

(3) 2022 年度 領域 13 領域副代表（次年度代表）・領域運営委員

- ・ 副代表：小島智恵子 領域運営委員：雨宮高久

(4) 2021/11/25 開催領域委員会の領域 13 富塚代表による報告

- ・ 定期的なオンライン大会の開催について
→2020 年秋から感染症対策のために始めたオンライン大会について、オンライン開催ならではの利点に鑑み、理事会では感染症が終息した後においても定期的に（例えば年 2 回の大会うち 1 回を）オンライン開催する可能性を検討しているとの説明。
- ・ 講演の英語対応に関して
→各領域の事情等も配慮しながら、領域の裁量で英語化を進めてほしいとの説明。本審議は今回で終了。なお、領域 7 ではスライドを英語化する働きかけをしているとのこと。

(5) 会誌編集委員会からの報告（稲葉肇委員）

- ・ 会誌 2021 年 11 月号に「あの研究の誕生秘話 特別編「小柴先生が追いかけた物理の夢」」を掲載。
- ・ 会誌 2021 年 12 月号に「大澤文夫の生涯と物理」（岡本祐幸）を掲載。
- ・ 会誌 2022 年 2 月号に「【話題】アイソスピンの符号の慣習をめぐって」（内藤智也・萩野浩一・小林良彦）を掲載
- ・ 会誌 2022 年 3 月号に「あの研究の誕生秘話 ゲージ理論における九後・小嶋形式」（九後汰一郎（聞き手：中村真））を掲載。
- ・ 物理学史分科の新ウェブサイトでも会誌の物理学史関連記事が紹介されている。

(6) 新著紹介小委員会からの報告（岡本拓司委員）

- ・ 特になし。

- (7) 物理学史資料委員会からの報告（岡本拓司委員長・有賀暢迪副委員長）
- ・学会物理学史資料委員会ウェブサイトにて物理学史資料委員会ニュース4号を公開。
 - ・学会創立150年に関する資料委員会の企画（複数）を検討中。
- なお、一つの企画は『大学の物理教育』誌上の「日本の物理教育150年」連載。
- (8) その他
- ・伊藤和行先生を偲ぶ会（3/17）が行われた。
 - ・八木江里先生の追悼記事をカナダの数学史学会誌にて掲載予定（中根美知代）。
 - ・IUPAPの100年記念関連行事の予定（高岩義信）。

II. 審議事項

- (1) 今後の各種委員会の確認（以下は2022年度の委員リスト）
- ・領域13副代表：小島智恵子 領域運営委員：雨宮高久
（領域13代表：金長正彦(物理教育)）
 - ・物理学史資料委員会委員長/副委員長：新年度第1回委員会にて決定
 - ・会誌編集委員会委員：稲葉肇
 - ・新著紹介小委員会委員：所澤潤
 - ・代議員：永平幸雄
- (2) オンライン大会の定期開催についての意見集約
- 報告事項(4)に関して次の意見があった。
- ・オンライン大会ではなく、オンラインと対面によるハイブリッド大会の検討の必要性。
ハイブリッド大会を検討しない理由は？
 - ・オンライン大会を定期的に開催するのであれば、オンライン大会のメリットを最大限活かした大会の検討が必要。例) 会期日程や期間の柔軟な対応、パラレルセッションの解消、オンデマンド講演（事前に録画したものを視聴）の活用など。
 - ・これまでの現地開催とオンライン開催を詳細に比較し、オンライン開催のメリット・デメリットを検討したうえでオンライン大会の定期開催を考える必要がある。例) 現地開催とオンライン開催の講演数の比較など。
 - ・オンライン大会の定期開催にあたっては大規模な意見集約（会員へのアンケート実施等）を必要とするのでは。
- (3) 物理学史分科の新ウェブサイト（管理者：有賀暢迪）
- ・領域13・物理学史分科の新しいウェブサイトを公開（2022/03/01）。
<http://www.r13.div.jps.or.jp/history/index.html>
→物理学史関連の情報（書籍や行事など）の提供のお願い（管理者宛）
- (4) 2022年秋季大会・2023年春季大会でのシンポジウム等企画について
- ・物理学史分科会の成立に関する企画講演を2023年春季大会に予定。
 - ・企画等への意見などあれば、2022年度領域運営委員（雨宮）まで連絡。
- (5) その他
- 特になし。